

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・あと認定こども園園児、小学1，2年生があーと村の参加者と木工や植物観察などを体験、また地域の人との交流を図ることができた。
- ・教育の場や楽しめる場として期待されており、あーと村の利用者増加に引き続きつなげていきたい。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	あーと村の活性化	(10) 事業中 (1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月4日	
(2) 実施場所	里山あーと村	
(3) 参加者数	40 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・広島市立阿戸小中一貫教育校・里山あーと村運営協議会	
4 取組内容	阿戸認定こども園園児、阿戸小学校低学年の児童などを中心とした阿戸の地域住民が、里山あーと村で里山あーと村の参加者と一緒のものづくり体験、植物観察、ピザの作り方の体験等を通じて、多世代間の交流を深めた。 当該場所は、公共交通がないため、バスを借り上げて参加者の送迎を実施。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	里山あーと村は、近年地域住民の参加者が減少している。このため教育の一環としてこどもたちの自然体験活動等を行うことで地域の交流拠点としての活性化を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	里山あーと村は、森林や農地など自然環境に恵まれており、こどもたちの教育の場や楽しめる場として期待されている。そこで、本事業を活用して、里山あーと村の利用者が増加して、地域住民の交流拠点となることが、今後期待できる。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・こどもの数も年々減少傾向にあり、参加者数が心配であったが、町外への広報活動に努めるなど行い、前年より多くの参加があった。
- ・参加者にも昼食を提供した。阿戸町の自然や文化にふれあいながら家族のみならず住民相互のふれあいを深めることができた。

1 事業名	ウォークラリー大会	(10) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年3月15日	
(2) 実施場所	阿戸町内一円	
(3) 参加者数	99 人	
(4) 主催団体	団体名 阿戸町ウォークラリー大会実行委員会・いやしの里あと活性化プロジェクト	
4 取組内容	事前に申し込みをした3～5名のグループで、A、Bのコースに分かれて、クイズのポイント、ゲームのポイントを順に歩きゴールを目指した。 1～3位、ポイント賞、ピタリ賞などを設け、参加者が楽しめる工夫を凝らした。 ゴール後は参加者やスタッフに昼食を提供し、家族のみならず、住民相互のふれあいを深めた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	阿戸町の自然や文化、人に触れ合いながら、協調と協力の大切さを体験し、家族および地域住民相互のふれあいを深める。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	チームで協力して一つの目標に取り組み、また他チームとふれあうことで、家族や地域住民との結束を深めることができ、住民同士顔の見える関係をつくることができた。また、阿戸町を実際に歩いて回ることで、地域のことを五感で感じるができ、郷土愛の醸成に寄与することができた。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・こども達の学力向上を図るため、夏休みに地域ボランティアや大学生などによる学習支援を行った。
こども達からは、親切に教えてもらい、集中することもでき大変有意義であった。来年もやってもらいたいと好評であった。学力向上につながった。
- ・こども食堂を3回開設し学校の先生や地域住民との交流を図ることができた。

1 事業名	コミュニティスクールの活性化	(10) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月24日	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校・あと穂育園	
(3) 参加者数	157 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸地区社会福祉協議会・阿戸地区民生委員・児童委員協議会・広島市立阿戸小中一貫教育校・阿戸母親クラブ	
4 取組内容	こどもの居場所づくりのため夏休みの期間中、阿戸中学校の図書室で地域ボランティアによる学習支援を行い、休憩時間で弁当や飲み物を提供した。また、子ども達と高齢者の交流を図るため、こども食堂を開設した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	こども達の長期休業中（夏休みなど）の学習の場を確保し、学力の向上を図るとともに歌を歌ったり、昔遊びを教えてもらったりするなどの体験を通じて、高齢者との交流を進める。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	夏休み期間中に地域ボランティア（大学生、高校生など）が学習支援などを行うことにより学力の向上につながった。また、こども食堂を通じて、高齢者との交流が深まり来年度以降もやってほしいとの依頼を受けた。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・一昨年度こども達の要望をうけ、小中学校グラウンドでとんどまつりを行ったが大変好評であった。7年度は、もちつきを12月21日に行い、はかまづくりは当日行ったがみんな手際よく、また、自らが主体的に動き楽しんでいた。
- ・ぜんざいや焼いたもちを食べながら、意見交換を行い、伝統文化の継承や多世代交流も図ることができた。

1 事業名	とんどまつり	(10) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月17日	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校 グラウンド	
(3) 参加者数	150 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸町連合町内会・広島市立阿戸小中一貫教育校	
4 取組内容	令和6年度、こどもたちの開催要望を受けて阿戸小中一貫校グラウンドにてとんどまつりを開催し、好評だった。 今年度も、もちつき、袴づくり、とんどの作り方、焼いたもちを食べながら意見交換等を行うことで、多世代間の交流を図った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	こどもたちの開催要望を受けて実施したことを踏まえつつ、伝統文化の継承や町民の多世代交流を図ることを目的とする。また、とんどまつりを通じて、阿戸小中一貫校を核とした地域づくりを更に進める。	
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	将来的に阿戸町各地で実施しているとんどを一か所に集約し、担い手不足を解消し、持続可能な行事にすることができる。また、規模を大きくし、多くの町民が参加し、地域の活性化につながった。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・雨の為、中止
・

1 事業名	阿戸町民体育祭 雨の為、中止	(10) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	雨の為、中止 8月9日 企画会議	
(2) 実施場所	福祉センター	
(3) 参加者数	15 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸町民体育祭実行委員会	
4 取組内容	10月5日に「阿戸町体育祭」を開催する予定だったが、雨のため中止した。 開催の周知は回覧で行った。中止の連絡は各町内会の連絡網で行った。 8月9日に関係者で体育祭の競技等内容について企画会議を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	町民がこぞってスポーツを楽しむ機会をつくり、これを通して町民全体の融和と健康増進を図って行く。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	町全体でのスポーツを楽しむ機会があまりないため、この大会を通じて体を動かし、会話をを行うなどにより親睦や交流が深められ健康の増進にもつながるが、今年度は雨の為中止となった。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・阿戸町の伝統である盆踊りをこどもから高齢者までこぞって参加し、町民の親睦や交流を深めることができた。熱中症予防や人手不足によりやぐらの設置を外部に委託するとともに提灯の電球交換、打ち上げ花火数を増やし、大会を盛り上げることもできた。
- ・こども達の踊りへの参加が少なかったのが課題となった。

1 事業名	阿戸町盆踊り大会	(10) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月15日	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校 グラウンド	
(3) 参加者数	200 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸盆踊り大会実行委員会	
4 取組内容	阿戸町の伝統である盆踊り大会を開催し、町民のさらなる親睦と融和を図った。人手不足により、やぐらの設置を外部に委託し効率化を図るとともに提灯の電球を交換、打ち上げ花火数を増やすなどより多くの人に参加してもらうことで、この大会を盛り上げた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	伝統文化である「阿戸音頭・阿戸踊り」を子どもから高齢者まで、町民こぞって参加し、継承するとともに町民の親睦や交流を深め地域の活性化を図っていく。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	小学生は授業の一環で、盆踊りを学んでいる。また、阿戸小中一貫校の運動会では、町民も参加して、盆踊りを楽しんでいた。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・農業祭、文化祭、バザーを3本柱に多くの参加者のもと盛大に行うことができた。農林産物の品評会では、多くの出品があり「セリ」では大いに盛り上がった。また、サークル活動をしている者等によるダンス、カラオケなどステージ発表も行われ住民の親睦交流が図られた。
- ・音響設備が福祉センターにないので、カラオケを借り上げまつりを盛り上げることができた。

1 事業名	阿戸町民まつり	(10) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月16日	
(2) 実施場所	広島市阿戸福祉センター	
(3) 参加者数	400 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸町民まつり実行委員会	
4 取組内容	農林産物等の品評会や町内でサークル活動をしている多くの人等がステージ発表や作品展示を行った。ステージ発表にあたっては、音響設備（カラオケ）を借り上げて、参加者の多くが楽しめる内容にすることや参加者同士の親睦交流を図った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	住民同士の交流の機会が失われつつあるので、サークル活動をしている者等によるダンス、カラオケなどのステージ発表を行い、住民の親睦、交流を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	阿戸町で活動しているサークル活動の発表の場を設けることで、生活文化の向上と親睦交流を図ることができた。音響設備が広島市阿戸福祉センターにないので、外部から借り上げることで、より一層雰囲気が高まり、町民まつりも盛り上がった。農産物のセリではおおいに盛り上がり、昨年以上の成果がでた。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・熊野川左岸さくら並木をイルミネーションで飾り、また、道路法面に彼岸花やあじさいを植え付けるなどして、散歩コースを歩くことにより、健康増進につなげることを目指している。
- ・7年度はイルミネーションの電源確保のため、電柱の建設を市道占用許可等の準備を行った。

1 事業名	環境美化活動	(10) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月5日 ~ 令和7年11月6日	
(2) 実施場所	阿戸町内一円	
(3) 参加者数	42 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸町連合町内会・阿戸認定こども園・広島市立阿戸小中一貫教育校・阿戸公民館・阿戸町女性会・阿戸学区公衆衛生推進協議会・社会福祉法人あと会・阿戸おやじの会	
4 取組内容	各種団体や学校等が連携して花いっぱいの阿戸町を目指して各公共施設の入口や各戸の家の前等を花で飾り、地域のつながりを深めた。 熊野川左岸（さくら並木）をライトアップし、散歩コースとして町民のふれあい、憩いの場とするのは令和8年度に行う予定。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	花いっぱいの阿戸町を目指して、町民全員が取組むことで地域の参画意識を高める。また、左岸整備によって散歩コースをつくるなど健康増進を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	色とりどりの花で町民は明るい気持ちになり、地域に愛着がわくほか、みんなで汗を流しながら活動することでコミュニケーションの活性化にもつながった。また、散歩コースを歩くことにより健康増進につながった。また、今回も中学生の参加で花に対する興味が増した。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・阿戸地区社会福祉協議会では、高齢者に対し住民福祉講座、敬老祝賀会等を開催、交通手段の確保困難な人に対し、送迎タクシーを借上げ、参加者数の増加を図ることにしたが、タクシーの利用者が少なく今後の課題となった。
- ・また、敬老祝賀会の演台花は購入し、お祝いした。

1 事業名	高齢者交通手段の確保	(10) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月13日	
(2) 実施場所	広島市阿戸福祉センター	
(3) 参加者数	73 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト・阿戸地区社会福祉協議会	
4 取組内容	阿戸地区社会福祉協議会では、高齢者に対し福祉講座や世代間ふれあい交流会、敬老祝賀会を開催している。その際、交通手段の確保が困難な人に対して、送迎タクシーを借上げることで、交通の便がないところからも参加できるように配慮することにより、参加者数の増加を図った。また、敬老祝賀会に演台花を購入し、お祝いした。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	交流を楽しみにしている高齢者の送迎をすることにより、参加者の増加を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	タクシーを借上げることでより多くの方の参加を得ることができるとともに、そのことにより参加者が幅広く交流を深めることができるが、今回はタクシーの利用者が少なく、今後の課題となった。	

令和7年度 いやしの里阿戸活性化プロジェクト 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・阿戸小中一貫校を会場に児童、生徒、地元住民200名が参加して防災訓練を行った。訓練終了後、参加者に防災グッズ、食糧等の配布を行い防災意識の啓発に努めた。
- ・今回多くの方に参加をいただき、特にこども達には段ボールベッドの組立、地震等の体験をすることができ有意義であった。

1 事業名	防災訓練	(10) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月2日	
(2) 実施場所	阿戸小中一貫校グラウンド・体育館	
(3) 参加者数	198 人	
(4) 主催団体	団体名 いやしの里あと活性化プロジェクト	
4 取組内容	阿戸小中一貫校を会場に、児童、生徒、学校関係者だけでなく近隣住民に参加を呼びかけ200名程度に参加してもらい、防災訓練を行った。 訓練終了後、参加者に防災グッズ、食糧等の配布を行い防災意識の啓発に努めた。 また、備蓄品は阿戸小中一貫校の備蓄倉庫にあるが、熊野川氾濫時には通行不能も想定されることから各町内会会館（6地区）に備品の確保を図る（ビニールシート等）必要がある。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 災害時、児童、生徒、地域住民がお互いに助け合いながら安全な避難行動をとるための訓練を実施する。併せて河川氾濫に備え各町内会に備品配布をする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 阿戸の被害想定を学び、避難所の運営、防災体験等を行い災害発生に備える意識向上ができた。また、備蓄品を各町内会に配布することで、緊急対応に備えることができ、安全安心のまちづくりを進めることにつながった。今回多くの方に参加いただき、段ボールベッドの組立、地震等の体験をすることができた。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容